

マルカニュース Maruka News

マルカモットー 最善の奉仕 SINCERE SERVICE

70th
Anniversary
Maruka Group

2016
No.678
6月

熊本地震で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
被災地の皆様の安全と一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

新キャンペーン展開

2016年度キャンペーン

**日米中亜 四極体制
実を結べ!! 70周年**

Maruka's Four Sales Powers are united
to Achieve Fruitful 70th Anniversary

新生マルカ 新たな目標510

Stepping forward to the Next Stage with New Aspiration 510

〈Ⅲ〉



竹下社長

第3四半期キャンペーンのスタート

竹下社長から全社員に
向けた訓示の要旨です。

昨年12月の年度初めに、いろいろな会合の席上での話題に「潮目が変わってきた」を良く耳にしたことを紹介しました。今年に入り外国為替相場が円高基調に振れ、株式相場も企業業績予想への不安を反映して伸び悩む中、更に熊本地方の地震発生が少なからず経済に影響を及ぼすことが見込まれています。

このような環境下、先月発表された1～3月のGDP速報値は前期比0.4%ですが、実勢では0%台であり、景気が足踏み状態にあるとの分析が発表されています。まさに経済環境の「潮目が変わった」と言える状況です。

トヨタ自動車の豊田社長も、今年の決算説明会で「今年に入って潮目が変わった」と指摘し、「これまでの数年間の決算は、為替による追い風参考記録の部分が多かったが、その風がやんだことで、自分たちの等身大の姿が見えてきた」と述べています。まさにマルカグループにとっても、真の実力が試される状況に直面していると言えます。

上期実績が経営計画から遅れている部署が一部に見ら

れます。第2四半期のスタートで創業者が説いた「組織効率」を紹介した中の、目標未達の3つの理由である「組織が悪い」「リーダーが不適格」「目標自体の誤り」のどれに該当するかを責任者は良く反省して、下期実績が同様の結果とならないマネジメントを追及していくことが責務です。環境の変化が激しい中であって、スピード感を持って果敢に実践することが重要です。

事業計画は何の為に、計画遂行の為に諸施策は何の為に、計画施策は作成することが目的ではなく、達成することが目的であることを、再度全員が認識し達成に向け、知恵と実行力と執念を発揮してこの下期を乗り切って貰いたいと思います。

海外子会社は第4Qに入り今年度の締めとなりますが、経営プラン計画の総仕上げの時期であると同時に、来年度計画を策定し来年度に向けた助走期間となる大事な3か月です。自分の為すべきことを確実に実行し、年度末を有終の美で飾れる実績で、迎えて貰いたいと思います。

6月号より釜江会長の新入社員時代からのお話を連載いたします。

新入社員時代の思い出①

マルカキカイに入社して、最初に配属されたのは名古屋支店でした。私は実家が大阪ですから当然、自宅を離れて寮生活を送ることになるのですが、寮と言っても今とは違い1階に家主さんが住む一般住宅の2階部分での共同生活でした。間取りは部屋が3室と共同台所が1つ、部屋と部屋との間は襖一枚で仕切られただけ、且つ1つの部屋に2人が住む相部屋でした。しかも入寮当初は部屋が満室の為に、先輩から「悪いけど、部屋に空きがないから暫くはここで寝てくれ。」と言われた所はなんと台所の板の間に、同期入社のT君と数力月は台所で寝起きを余儀なくされました。最初は「なんやねんこれは」と思いましたが、慣れてしまえば住めば都で花が咲くで、結構楽しい寮生活を送ることが出来ました。現在では有り得ない話ですが、半世紀近く昔にあった本当の話です。



釜江会長

新入社員時代の思い出②

名古屋支店では私は産業機械部門に、同期入社のT君は建設機械部門に配属されました。当時の名古屋支店は建設機械部門が売上全体の9割以上を占めており、担当者も大勢の大所帯でとても活気がありましたが、一方の産業機械部門は、責任者が2年先輩のNさんと私の二人だけの小所帯で肩身の狭い思いをしました。仕事について当時のM支店長から「とにかく煙突のある場所に行きなさい、煙突は目立つからどこに行ってもすぐに分かる。そこを目指して訪問しなさい。」との指導を受けました。これは、煙突のあるところには必ず「ボイラー」がある。だから、そこに行って「ボイラー」を売り込んで来なさいという理屈です。H社とK社のボイラーカタログを持って連日売り歩きました。しかし、飛び込んでもそう簡単に売れるものではありません。ボイラーは頑丈で、一回買えば子や孫の代まで使うことが出来るリピート性の低い商品ですし、新しくボイラー設備を入れる話はそうそう耳に入りません。「これでは商売上がったりだ」と思い、工作機械のパンフレットをカバンに詰めて売り歩くことを始めました。当時はフランス製と日本製の汎用旋盤をPRしましたが、値段は高いけれどもフランス製が良く売れました。又、Y社のプレス機械もお客様の食いつきが良く、当時としては〇〇台まとめて注文を貰ったこともありました。張り切って営業しているさなかに、Y社の担当者から「名古屋は△社に売ってもらっているから、マルカさんが売るには及ばず」と言われたこともありました。その後のY社の変遷からプレスはK社を扱い始めることになり、現在に至っています。今でも煙突をみると、当時を懐かしく思い出すことがあります。

2016年度入社式が執り行われました！



(上段左から 八木勇輔 清水優作 増田和樹 林田 雄一朗 島本 純平 今村 昂)
(下段左から 小林 ゆり 釜江会長 竹下社長 奥村 一穂)

(竹下社長からの入社辞令交付)

4月1日(金)、本社大会議室で入社式が執り行われました。

竹下社長の入社式における挨拶には、創業者である田中嘉助氏からの社訓「人生是誠也」に込められた当社企業哲学の精神のお話から始まりました。挨拶が進む中、経営基本目標、会社の歴史についても触れ、現在当社を取り囲む「第

4次産業革命」のご説明にも及び、「新生マルカ」をスローガンに掲げた創立70周年入社の新入社員達に、10年後、20年後、100周年では、マルカキカイグループの中核幹部として活躍していることを期待されエールを送られました。

お花見

本社では4月2日(土)好天の中、「新入社員歓迎お花見」を茨木市役所前の公園で開催いたしました。各部若手社員中心に、部課長の奥様やお子様も参加して頂きました。ビールの量も進み、お湯割り用に用意したポットのお湯もすぐになくなり、皆

さんエンジョイされていました。新入社員達にとっては、昨日の緊張した入社式から合同研修とうって変って楽しいひと時を過ごし、研修期間中のいい思い出になるに違いありません。

今年参加できなかった本社の皆様にも、来春のお花見には是非参加できるように計画をたてますので是非ご参加ください。



国際営業部 川田 健一朗

東京支社は恒例の夜桜花見を4月1日(金)業務終了後、事務所近所の坂本公園で午後6時30分より行いました。当日はまだ七部咲き程度でしたが、サプライズ登場で周囲も驚く大光源の下、支社メンバー15名程が集まり女子社員も遅れて2名駆けつけました。

業務多忙で各部メンバーと一緒に集まる機会がなかなか無いのですが、この日



は別です。用意したお酒も進み、宴たけなわの午後8時頃くらいから雨がポツポツ降り始め心残りですが撤収いたしました。来年もまたこの場所で夜桜を楽しみます。このノミネーションが、東京支社のコミュニケーション力です。

東京支社経理・総務課長 大城 亨

『販売管理』・『貿易管理』の定例研修会を実施



昨年に引き続き、今年も4月～5月にかけて、本社と各支店・営業所にて業務部及び海外統括室による研修会を実施しました。

業務部から販売管理規程については、前回研修のフォローアップを兼ねて、若手社員にも理解しやすいように、フロー図を活用しながら質疑応答形式で進めました。商売の各プロセス（見積→販売稟議→受発注→売上仕入→回収支払）における留意点を再認識でき、今後とも営業・業務において、更なるルール遵守につとめてまいります。

海外統括室からは輸出において必要不可欠な輸出管理に関して、今回は特に営業部門における対応ポイントについて出来る限り実務的に説明致

しました。その中でも特に輸出管理の出発点となる輸出品の「該非判定」の重要性の説明に注力致しました。輸出管理責務が営業の重要業務のひとつであり、輸出前から輸出完了後の機械所在管理までの一貫した当社の輸出管理体制を説明致しました。

今後も貿易取引の流れを理解したうえで、輸出管理の遵守事項の徹底と電子データの可視化を図り、事業継続マネジメントにも対応できるように実践的な対応を、営業部門・業務部門で協力しながら全社のレベルアップと周知徹底を目指していきます。

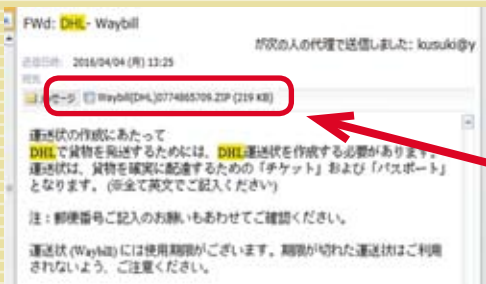


マルカ パソコン情報局 Vol.1

迷惑メール ランサムウェアについて

2016年に入り、ランサムウェアと呼ばれる不正プログラムの感染を目的とした迷惑メールが増えております。ランサムウェアとは、PC内のファイルを暗号化し使用できなくさせ、ファイルの復元と引き換えに金銭要求するものです。

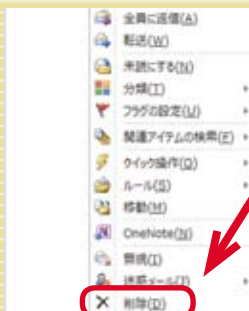
(図1)



(図1) 迷惑メールの一例です。下記のDHLを装ったメールのように、業務と関係があるように見せかけ送信されます。添付ファイルを開かないように注意する必要があります。

添付ファイルは開かない

(図2)



(図2) 迷惑メールは速やかに削除してください。

- ・PC内のデータが暗号化され使用不可になります。
- ・そのまま放置すると、ネットワーク経由でサーバや他複数台のPCのデータにも感染され、企業のデータ資産が多く失われることにつながります。

万一、感染が疑われる場合は、最初にPCをネットワークから切り離して下さい。その後、システム管理者に連絡して下さい。

情報システム部 好崎 浩二

ドイツ建設機械見本市視察 (BAUMA 2016)



(BAUMA展の会場風景)



(日本KOBELCOの会場)

第30回の節目として、今回は21社41名の方にご参加いただき、4月15日に日本を出発し世界最大の建機展BAUMA2016の視察を含め、日頃からご愛顧頂いているお客様への感謝と、マルカキカイ創立70周年の思いも込め、初めてのビジネス&観光を合わせた視察旅行と致しました。

BAUMA展は、世界58ヶ国から3,400社を超える出展を誇り、述べ56万㎡の会場に約58万人の来場者を受け入れる、まさに世界最大の建設機械展でした。多数の来場者で賑わう中には、家族づれでの来場が多く、幼い頃から機械に触れ、次のマイスターを自然に育てようとしているドイツ文化の一端に触れた気が致しました。

入場に際しまず、コベルコのブース会場を訪問、油圧ショベルのみならず90トと250トのクローラークレーンをはじめ、コベルコの確固たるプレゼンスに触れ、また我々マルカツアーの訪問を熱烈歓迎して頂き一層のコベルコとの絆が強まりました。

ドイツの後は、仕事を忘れ、イタリア(アマルフィー、ポンペイ、ローマ)の世界遺産の旅へ…。御陰様で、事故も無く、全員、元気で日本に帰国致しました。来年もまた、皆さまに期待していただけるマルカツアーを企画したいと思っています。是非ともご期待ください。



(アマルフィーの海岸にて)



(マルカパーティー ローマにて)

管製作所が マルカグループになりました!!



(左より管社長と弊社竹下社長)

3月30日にマルカキカイと(株)管製作所との間で、株式譲渡契約書を取り交わしました。当日は山形県天童市から、管社長様にお越しいただき、マルカキカイ本社にて調印式を執り行いました。マルカキカイは(株)管製作所の全株式を取得することで、同社を完全子会社にいたしました。目的は精密洗浄技術を中心とした専用機の開発製造メーカーである同社の技術を取り込むことで、提案型営業の幅を大きく広げるとともに、北米市場を視野に弊社の北米拠点とのエンジニアリング事業の協業を狙うものです。同社とはMM会設立会員として、お付き合いを重ねており、トップ同士だけでなく、営業担当者同士でも親しい関係が出来上がっています。今後は今まで以上に各地域各方面でのシナジー効果が大いに発揮できるものと期待が高まっています。6月24日(土)～25日(日)には山形本社工場にて、当社主催のオープンハウスが開催されます。工場見学、実機見学(洗浄機デモ機及び組付設備)、開発機紹介等計画しています。弊社営業とご参加頂ければ幸いです。



(管社長調印サイン中)

ソノルカエンジニアリングが、 超高強度鋼板(スーパーハイトン材) 対応レベラー装置を開発!!

弊社グループ会社のソノルカエンジニアリングは、引っ張り強度1180メガパスカルの自動車向け超高強度鋼板材用で塑性変形率70%のレベラー装置を開発しました。

自動車業界で引っ張り強度1180メガパスカルハイトン材は一部高級車種での採用にとどまっていたましたが材料品質のバラツキ抑制やプレス金型技術の向上が進み量販車車種での採用が始まりました。ただ量販車での本格採用には歩留まり向上が欠かせず、レベラー装置・プレス・金型など一連の高度化が必要です。

ソノルカエンジニアリングは、引っ張り強度1180メガパスカルの現行機の塑性変形率は55%～60%でしたが、ロール径・ピッチ・材質・駆動モーター・機械剛性を高めるなどで塑性変形率を70%と致しました。今後は、自動車メーカーや自動車の内板・骨格部品メーカー向けに販売していく計画です。



(超ハイトン用レベラー現行機)



(北島部長)

マルカ・アメリカ社 北島部長、米国公認会計士資格試験に合格！おめでとうございます。

米国公認会計士 (USCPA) 資格取得への挑戦は、50歳を過ぎた頃、「英語と、仕事で培った会計知識の実力試し」との軽めの気持ちで臨んだ最初の科目での見事な失敗からスタートしました。仕事をしながらの挑戦で、途中、何度も投げ出しそうになりましたが、日課の早朝散歩の継続で体調と気持ちを整え、忙しくても、たとえ酔っ払った日でさえも、平日は少なくとも30分程度、休日には2〜3時間の勉強時間を確保し、6年間に及ぶチャレンジを経て今般、必要な4科目全てに合格できたのです。

この自分との闘いの経験を通じ、目標に向けて決して諦めないことの大切さを実感しました。支えてくれた家族や同僚への感謝を忘れず、“生涯勉強”“生涯現役”の気概を持ち続けたいと思います。

Congratulations! Mr.Kitajima, Accounting Manager of MU, has passed USCPA Examination!

I was already over 50 years old when I started my challenge for USCPA. I just wanted to test my knowledge of English and Accounting but my first trial was a big failure. Since then, I continued to study beside my daily jobs spending 30-180 minutes a day for it. After repeated challenges over 6 years, I finally passed in all 4 subjects recently.

Through this tough experience, I think I learned the importance of “never give-up” spirit towards a dream/target. With my sincerest appreciation for my family and friends, I will keep challenging throughout my life.



(米国公認会計士
資格試験合格証明書)



写真左より

寺本 日系担当部長、安田 MX社長、Brent Eagleburger工作機械担当部長、竹下マルカ社長、Gary Lowery社長、Kevin Bruce射出成形機担当部長補佐、高橋 射出成形機担当部長、Dan Krawchuck本社営業部業務課長、Dick Lueck ITI社長、嶋林副社長

「MU会議」を開催しました！

米州営業本部では、去る5月12日、Maruka USA (MU) の本拠地・米国Kansas Cityにて半年に一度の「MU会議」を開催しました。「MU会議」は、MU取締役でもあるマルカ本社・竹下社長出席の下、Lowery MU社長、MU子会社のIndustrial Tool Inc. (ITI) を含むMU各部門（工作機械部門、射出成形機部門、千代田工業担当部門、日系部門）のヘッドが出席、それぞれの現状や課題、今後の戦略等についての議論をする会議です。なお、その前日には、Maruka Mexico (MX) の安田社長、竹下社長、米州統括本部長とで同趣旨のMX会議も実施しています。

冒頭に竹下社長より、マルカグループ・スローガンの『新生マルカ 新たな目標510』を軸にした訓示や激励が力強く行われた後、部門毎に現状と課題、課題への対応策などが、割り当てられた時間を越えて熱心に議論され、本社の代表である竹下社長とも共有できた有意義な一日となりました。議論の内容を踏まえ、今後一層、米州営業本部一丸となって業務に邁進する所存です。

(嶋林 記)

Semi-annual MU Conference

On May 12, the Semi-annual Maruka USA (MU) Conference was held in MU's Kansas City Office.

With the attendance by Mr. Takeshita, who is the President of Maruka Machinery (Maruka Japan) and a non-resident Director of MU as well, Mr. Gary Lowery, the President of MU, and the Senior managers of MU's each Division including Industrial Tool Inc. (ITI), a subsidiary of MU, got together to discuss current topics, issues, and strategies for the future improvement. Also, a conference on Maruka Mexico (MX) was held separately among President Takeshita, Mr. Yasuda, the President of MX, and the Head of the Americas.

President Takeshita provided the general remarks including an explanation of Maruka's current slogan "Stepping forward to the Next Stage with New Aspiration 510" and encouraged all the participants. His remarks were followed by enthusiastic discussions by each Division and the conference as a whole was very positive and fruitful.

Maruka Americas will surely continue to make every possible effort for the future improvement.



2016年度 建機全体会議開催



3月3日(木) 本社にて、国内・海外の営業拠点より建設機械部門の社員やオブザーバーの総勢26名が集まり、2016年度建設機械部門の全体会議が開催されました。

冒頭に竹下社長より、①建機本部の若手社員への激励、②既納ユーザに加え、新規開拓ユーザを開拓すること、などの訓示を頂きました。

2016年度上期の達成状況、営業目標に対する課題や達成手段等について各自発表を行い、シンガポール事務所からはラオ所長も参加し東南アジアでの活動内容

を報告しました。ジャパンレンタル(株)からは高岡社長、甲田執行役員に出席頂き、大型高所作業車の導入により収益増加を目指すとの報告がありました。

最後に砂河本部長より総括があり、国内営業部門の売上増による利益の向上を狙いつつ、海外部門の採算化を行う、国内レンタル事業の売上増を目指すという方向性を確認した会議となりました。

国内の堅調な需要に支えられ、伸長するマルカキカイ・建設機械本部にご期待ください。

2016年度 東南アジア・インド全体会議開催

4月9日(土)に東南アジア・インド全体会議を、ジャカルタ(インドネシア)にて開催いたしました。本社より二橋常務と飯田管理本部長、東南アジア(タイ・ベトナム・マレーシア・フィリピン・インドネシア)・インドの各国より各拠点長が一堂に会しました。各国の営業推進状況、新商品や新事業等の新たな取組み、課題等を発表し、今後成長戦略としてどのように営業活動を進めていくか、マルカの強みである海外ネットワークをどのように生かしてユーザー様の生産活動に貢献するか等有意義な討議の場となりました。

また各国駐在員が肌で感じている現地の景況、経済動向の情報が得られる貴重な機会でしたので参加者皆、各発表に熱心に傾聴している姿が印象的でした。

夕食はマルカインドネシア御用達のNerayan Seafood Restaurant という中華風インドネシア料理店で円卓を囲み親睦を深め、皆で目標を達成するという団結心を固めました。



最後になりましたが、海外ネットワーク活用の一つとして、TMM会(マルカタイMM会)のタイ国外への拡販活動がございます。TMM会とは2014年にマルカタイが発足しましたタイ国内でモノづくりをされている優れた技術を有するメーカー様サービス会社様で構成されている会です。様々な分野の商品があり東南アジア・インドを中心に各国に販売させて頂いており幅広いご提案で営業推進しています。

マルカ・インドネシア社 営業部次長 花登 駿也

勤続20周年



大阪産業機械第一部 次長
新谷 英明

マルカキカイ創立50周年記念の年に入社し、早いものでもう20年の年月が経ちました。70周年という節目の年に勤続20周年のお祝いをして頂きありがとうございます。こうして20年間やってこられたのも、お取引様、諸先輩方々や同僚、後輩達の支えがあったからだと改めて感謝いたします。

入社以来大阪に15年間勤務した後、初めての転勤でインドネシア駐在を5年間経験させて頂き、今回また大阪へ戻ってまいりました。大阪での15年間で培ったことはもちろんですが、海外駐在でできた貴重な経験や人間関係をプラス材料にし、お取引様や会社へさらにより良い提案ができるようやっています。

さすがに創業100周年記念の時にはもう既に退職していると思いますが、その時に立派な会社であってもらえるよう、これからも日々努力と成長を忘れず、会社と共に自分自身も発展を続けていきますので、今後共にどうぞよろしくお願い致します。



ファミリーデー(従業員家族との社内旅行)
2015年避暑地バンドンにて



大阪建設機械部 次長
和栗 潤

入社してもう20年が経っていることを今改めて実感しています。このままマルカキカイにお世話になるとすれば、前半戦が終わり、後半戦に突入したことになります。

前半戦を振り返れば、最初の10年はまわりをあまり気にせず、お客様の懐にいかに入り込んでお客様の役に立つ機械を販売していくことだけを考えて営業し、次の10年は少しずつまわりも見えてきたかな・・・と思います。

マルカキカイの使命として“顧客の満足”とありますが、お客様に喜んで頂けるように、お客様の役に立つ機械を届けていくという気持ちは変えることなく、後半戦は前半戦と違った動きができればと思っています。気付けば部員は後輩ばかりになっていて、その後輩達を育てていくことにも力を入れていきたいです。またマルカキカイの建設機械部全体のことを視野に入れ、何をすべきか模索しながら色々なことにチャレンジしていきたいです。

また勤続20年は、私が担当させて頂いているお客様やメーカー様、社内の皆様等、まわりの助けがあつての事だと感謝の気持ちを忘れずこれからも頑張ります。

拠点紹介



島根営業所

島根営業所は古くから農機の町として発展してきた、松江市東出雲町にあります。マルカナチ販売(株)の期間も含め凡そ半世紀、今でもマルカナチさんと声をかけられることが多く、営業所の歴史を実感します。近隣・近郊には永年、農機の製造に携わってきた企業が多く、県外の農機・自動車・産業機械メーカー等との交流も盛んです。

島根営業所のユーザー様の中で大きいウエイトを占めるユーザー様は、2015年10月に世界首位の農用トラクタ生産台数を誇る、インドの大手財閥企業と資本提携し、海外展開の強化を推進する農機メーカー様とそのグループ会社様です。製品に組込む、軸受、油圧機器、伝動部品等々の部品を毎日の必要数、生産工場へ納入しています。

島根県の東部、出雲地方は“神話の国出雲”として人気の観光地です。“出雲大社”は大国主大神を祀る神々が集う縁結びの聖地で、平成25年に本殿の大遷宮が行われました。新聞、テレビ等で度々紹介され、今まで以上に多くの方が、良いご縁を授かりに参拝されています。このことは東京駅午後10時発、JR寝台特急“サンライズ出雲”の乗客女子率が70%と高いことからもうかがえます。

“松江城天守”は現代建築にも通じる効果的な柱配置で独特な構造の天守として知られていました。築城年(慶長16年)を記した祈祷札と柱のくぎ穴の一致が決め手となり、平成27年7月、国宝に再指定され今は観光の目玉となっています。松江城天守から望む宍道湖(しんじこ)はシジミの漁獲量日本一の汽水湖で、湖上に浮かぶ嫁が島をシルエットにせず夕陽は、静寂でロマンチックな縁結びの国を実感させます。

島根営業所は現在、男女各1名の少数精鋭!これからも、取引先様とのご縁を大切にして、笑顔と誠意で前進します。今後とも宜しくお願い申し上げます。



(左より 業務 中村社員 高取所長)

松山営業所

松山営業所は、松山空港から車で7分程度、JR松山駅も車で15分程度のロケーションにありマルカキカイの四国での唯一の事務所です。当地は神話時代からある道後温泉が全国的にも有名で、松山城も別名金亀城と言われ城郭遺跡として国に重要文化財とし指定されております。海がそばなので、太公望の方には夢のような場所です。

松山営業所の営業範囲は四国四県をカバーして、営業範囲も広く業種も農機具業界、造船、加工機業界を中心に工作機械、産業機械をメインに扱っております。昨今のお客様の海外進出のお手伝いもアジア中心に(インドネシア、ベトナム、中国等)物件の引き合いを頂いております。

お客様、メーカー様に支えられながら、他支店からの応援も頂き業績も向上しています。人員も増員でき事務所も拡張できるよう頑張っていく所存です。

今後とも、マルカキカイの営業所として、一員として70周年には大きな花を咲かせているよう、皆様のご支援・ご指導の程お願い申し上げます。



(武智所長)

マルカの動き 3～5月

動 き

4月1日 : 入社式
4月5日 : 第一四半期決算発表
4月9日 : 東南アジア全体会議

辞 令

3月1日付
難波 経久 産業機械副本部長
嶋林 直人 米州統括本部長(理事)
長尾 学 中国統括本部長(理事)
碓 宏一朗 上海丸嘉貿易有限公司 総経理
新谷 英明 大阪産業機械第一部 次長
荒井 隆 経理部 課長
丸山 真史 マルカ・インドネシア社 営業部長
藤田 竜太郎 東京産業機械第二部 第一課
4月1日付
岡内 英紀 財務部 次長
中村 卓也 名古屋産業機械第二部 第二課長
花登 駿也 マルカ・インドネシア社 営業部次長

表 彰

○殊勲賞
山本 洋敬 大阪産業機械第一部
窪田 健人 東京産業機械第二部 第一課
大阪産業機械第一部
名古屋産業機械第二部
マルカ・メキシコ社
マルカ・インドネシア社
○一般表彰
【日商簿記検定2級】
森田 万智香 総務部総務課
【日商簿記検定3級】
遠藤 裕大 大阪建設機械部
【貿易実務検定3級】
今村 昂 東京建設機械部
奥村 一穂 名古屋産業機械第一部
島本 純平 名古屋産業機械第二部
清水 優作 大阪産業機械第二部
増田 和樹 東京産業機械第二部
八木 勇輔 建機輸出部

2016年新入社員

4月20日付
今村 昂 東京建設機械部
奥村 一穂 名古屋産業機械第一部
島本 純平 名古屋産業機械第二部
清水 優作 大阪産業機械第二部
林田 雄一朗 静岡営業所
増田 和樹 東京産業機械第二部
八木 勇輔 建機輸出部
小林 ゆり 東京支社 経理・総務業務

新入社

4月18日付
伊東 哲也 営業統括付部長
橋本 将 ソノルカエンジニアリング(株) 営業部

マルカニュースをアシストしてくれる

キャラクター紹介

キャラクター作成: 経理部 中河 由美子



まるた

入社5年目
趣味: ドライブ、旅行
好きな食べ物:
アボカドのサラダ、枝豆
目標:
新規開拓と海外赴任



まるみ

入社3年目
趣味: ヨガ、カフェめぐり
好きな食べ物:
抹茶パフェ、天ぷら
目標:
業務スキルUPと経費削減



ターンテーブル式高圧CNC洗浄機

KR-2



- ターンテーブル標準装備により
洗浄中ワーク脱着が可能
- 駆動ユニット改善で従来機より
送り速度2倍にアップ
- 天井扉を取り付ける事により、
ガントリーよるワーク脱着も可能で
自動化ラインにも対応しております。
- 作業効率とサイクルタイム短縮を
大幅に向上させました。



直噴洗浄ノズル

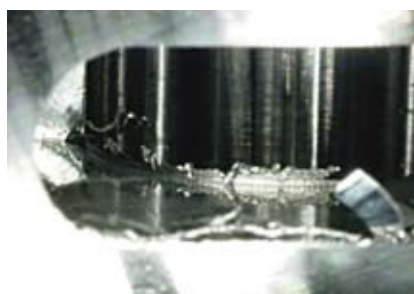


回転洗浄ノズル

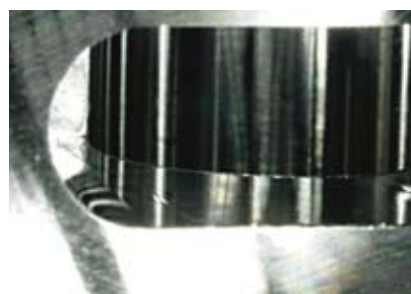
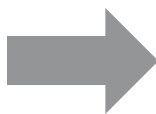


大流量洗浄ノズル

バリ取り例



洗浄前



洗浄後

お問い合わせは

マルカキカイ 株式会社

産業機械部へ

大阪産業機械部 TEL. 072(621)3371
東京産業機械部 TEL. 03(3808)1221
名古屋産業機械部 TEL. 052(211)3681
岡山支店 TEL. 086(231)0305

静岡営業所 TEL. 054(281)6531
松山営業所 TEL. 089(952)6411
島根営業所 TEL. 0852(52)2541
福岡支店 TEL. 092(503)5871